

磐城大衆新聞

毎月一回 一日十五日
 定価 一部 五十銭
 廣告料 (場所指定十銭増)
 発行兼編輯 長谷川兵衛
 印刷所 磐城大衆新聞社
 福島縣平町研町十八番地

平町
釜屋
 電話 999番

迎年の断想

主幹 長谷川柴水

謹んで昭和八年の新春を迎える。
 多事多端なりし昭和七年は永遠の過去の幕の中に穩没して、是れよりは、いよく所謂『非常時』日本の國運民命を『非常展開』すべき乾坤一擲の秋に直回したのである。

まさに八千萬同胞總立ちとなつて國運民命の伸張と打開に決死的覚悟を以つて當たらねばならぬ。
 舊き過去の一切は悔恨と不満を以つて充される。

我等は讀者諸賢と共に舊き過去の一切を忘却し放下し去つて清新潑刺、生々躍動してやまぬ維新の光を仰いで創造進化の大道を益進したき誓願に燃焦し、ある。

一日の勞苦を忘るゝに一夜の甘眠あり、一生の勞苦を忘るゝに永遠の眠あり、一年の一切を忘却するに希望の新春がある。

冀はくば梅花と共に新なる心意氣を以つて今年に善處せんとする。

新聞事業は難事中之難事である。

本紙は過去數年間、郷土人諸賢の熱切なる賛援と深甚なる理解の下に今日まで苦心終營し來つた。不肖の微力以つて充分の業績を積み得なかつた事は遺憾至極ではあつたが、大過もなく又大功もなく過去數年間經營し來つた事は偏に本紙賛援支持者各位の賜とする所、茲に新春を迎ふるに當つて滿腔の謝意を表すものである。
 終に臨んで讀者諸賢の健康を神明に祈願し併せて國運民命の伸張と發展を待望しつ、筆を擱く。

平市創建人群像

フリス・ヒー

井上茂作氏 その名餘 **坂本隆藏氏** 氏は趣味りに多く知られたる人物に豊かなる雅人殊に書畫骨董して一言の評を要しない明に一隻眼を有する、その道明なる性格の持主にして又の通人である、古參の町會有名なる快辯の所有者であつたとして又現町議として居る。町議として又縣參事會町治のために盡力されて居員として、野崎滿藏氏と對立拮抗して立つ、又消防組頭として全國的有名な名組頭である。

野崎滿藏氏 井上茂作氏と對照して立つ人、町議として又縣會議員として、風人に接する態度は修得し往年の活火山の氣魄を腹底能はざるもの、氏また修練に秘め旺盛なる闘争の角を積める苦勞人である。短めて將來中央政界進出を農大出身の學究者にして又策しつゝその一黨の陣營を店頭の經濟人更に又町議と堅めつゝある人、得意の人である、半面苦勞多き逆境修練の人である。

關内正一氏 實業界及政界に於ける最新人として大衆待望の焦点に立つ、次期縣議の噂にのぼりつゝも輕卒に政界の表面浮動し來らざる深觀と遠慮を以つて先輩のために奉仕しつゝあるとして區發展のために一意

齋藤敏實氏 有名なる三三三屋肉店主として偉大なる巨魁を掲げ温顔に微笑して人に接す餘程心の練れたる人ならぬ氏は如く春

柏原幸次郎氏 大三縣議として新鮮なる空氣を縣會上に横溢せしめ今や得意の壇上に活躍しつゝある。野崎、井上の兩氏は氏にあ

秋原義雄氏 新選年團長として青年指導のた

三森虎雄氏 明大商科出身の新人、かつて青年團長として青年指導のた

柴田德二氏 四丁目角に天に聳ゆる文化の殿

専心奉仕しつゝある名區長 區長として又大鹽會各名會堂を建設して最新知識の提である、世の中の悲風慘雨社の支配人として天才番頭供者としてマルトモ書店に心膽を練つた老巧の苦勞人である、區民の信望を負崎家譜代の人として主家の階上マルトモホールは講演ふ信用厚き區長である。

多田井笑次郎氏 平町青年團長として幾多青年敬慕の焦點に立つ青年町議として噂に上つた人であつたが陰の人として馬目團副團長の要職にありて青武之助氏のために盡された年誘撥に奉仕生活をなす老

金成泉一郎氏 青年團副團長に於ける最新經濟人押し出さるゝであらう又當て當町に於ける最新經濟人然送り出してもよい人だとしてその明日を待望され居る。

木澤常松氏 研町の名

佐々木龍若氏 酒井清氏 警中出主として學用品、スポーツ

堀喜一氏 魁文堂

諸橋敬一郎氏 大釜屋、諸橋家の分家に

學殖あり、意見あり、操身の逸材にして新時代の空

守ある町會議員として命令氣を滿喫し意見あり抱負あ

噴々たる人である。氏は中

中央大學出身にして過去二期停池沈澱した平町會に新

とも町會議員として町治のしき空氣を導き入れ潑刺た

ために献身された、氏の如る生命を吹き込む役割を演

き仁は黨派を超越して町政するに相應はしき人である

討議壇上に送り込みたき人である。

縣議として新鮮なる空氣を

謹賀新年

平町酒店：木材商評判記



白萩支店 松ヶ岡公

園下に近代文化的店舗を構えて活潑に營業する酒舖白萩支店は創業十數年、斯業界に堅實なる歩みを續け今日の盛大をなした。

店主屋島藤輔氏は敏腕の實業家として山形出身、酒商組合幹事として業界のために奉仕してゐる。

【電話四四三番】

廣瀨支店 店主内藏

傍治氏は質實沈黙の實行家、青少年時代一店員としての苦行の體験は遂に今日の成功を致した。同店は得意先を新田町花柳界に持ち斷然勢力をもつ。創業卅數年本店は茨城縣高濱にある。

銘酒白菊、ユニオンビールの特約店。

【電話五四番】

五十嵐支店 平町

の大玄關平驛と直向して五十嵐商店は堂々たる店を構えてゐる正に地の利を得る戦第一の條件を具備してゐる。

店主五十嵐小平氏は山形出身にして先見の明ある酒類組合創立以來の名組長人であるが故に貸し倒れの如き事殆んどなく、店運益々隆昌に向ひつゝある。

一番番頭五十嵐茂氏は明年實業家、次男甚藏氏は醫學博士の榮冠を戴いて大連として忠實に店務に従事し力主界に雄飛しつゝある。

【電話一三六番】

長ノ口酒酒店 店主

銘木次郎氏は同店南町方に販賣區域として同方部に斷然勢力をもつ、酒類雜誌廿年、今や押しも押されぬ酒商として手廣く營業をなせぬ一流酒酒店である。一番頭長谷川氏は明敏なる頭腦として斯業界發展のため盡力した。明年の町議には押店務に従事して居る。

【電話三三四】

高田酒酒店 店主高田

精一氏は新潟出身にして前區長の名譽職にあり區の奉仕したる業績顯著である。平酒類商組合創立以來の幹事として業界隆榮のために盡力した。

金子酒酒店 新田町花

柳界を挟んで西に廣瀨支店東に金子酒酒店は對立してゐる。

創業卅年、店主金子豊吉氏は實直なる商人として業界より絶對の信任を受け、平酒類組合創立以來の名組長活動である、得意先注文の有無に拘はらず町内東南西北風雨寒暑を問はず、巡歴中出身にて温健着實なる青過多なる平町に於ては、かるに敏、奮闘の結果今日の成功を致した。

本郡澤渡村出身にして創業十數年、業礎堅實にして

鍋嘉支店 本町二丁

店主星野久八氏、會津人にして堅實なる商人である。銘酒住ノ江の專賣、創業廿年、今や押しも押されぬ酒商として手廣く營業をなせぬ一流酒酒店である。一番頭長谷川氏は明敏なる頭腦として斯業界發展のため盡力した。明年の町議には押店務に従事して居る。

【電話三三四】

大竹酒問屋 創業

卅年、得意先を各方面にもつ、店主大竹芳之助氏は茨城縣出身にして敏腕なる實業家而も氏を補佐するに少壯有爲の才幹をもつ嗣子久太郎氏あり、同氏は警中出身にして時代の流れを理解する新人である。

同店は銘酒香梅を專賣しつゝある。

丸伊酒酒店 銘酒肅正

致協力して營業に當る。特別賞賛すべきは店員不斷の活動である、得意先注文の有無に拘はらず町内東南西北風雨寒暑を問はず、巡歴中出身にて温健着實なる青過多なる平町に於ては、かるに敏、奮闘の結果今日の成功を致した。

本郡澤渡村出身にして創業十數年、業礎堅實にして

栗野屋酒酒店 店主

石澤茂氏は竹を割つた様な直情徑行の人、茨城縣出身創業廿數年、銘酒一品の特賣店である。

前酒類商組合幹事として業界隆榮の爲に盡力されて居る。

馬目支店 本店は内

郷村高坂にあり、銘酒近盛の大量生販賣を營む。支店主任吉田正夫氏は澤渡村出身にして少壯有爲の經濟人である。平町青年團の幹部として斯界に雄飛してゐる。

【電話五八四番】

早川材木店 店主

早川重治氏は澤渡村出身創業三十數年、材木商幹事として斯界に雄飛してゐる。

【電話五八四番】

阿部材木店 店主

阿部章氏は堂々甘貫巨軀を有する肥大漢、商機を見逃さず、奮闘の結果今日の成功を致した。

本郡澤渡村出身にして創業十數年、業礎堅實にして



織田材木店 店主

織田萬次郎氏は純生平つ子前途を囑望する。青年實業家である。過般火災に遭遇して今や新装成つて營業の新陣營を構え活潑に營業して居る。

【電話四六〇番】

色川材木店 店主

色川勝三郎氏は才腕快手縦横の經濟人、その天才的商才は電光石火的に閃く途に今日の成功を致した、創業三十數年其間財界の怒濤疾風と戦つて不屈不撓の精神を以つて戦ひ抜いた氏の鐵つゝある。

【電話三三三番】

石山材木店 店主

石山忠三氏は宮城縣出身少壯新進の士として明日の活躍を期待されつゝある。材木町青年分團幹事として青年指導のため盡力されてゐる。

▲▲▲▲▲

榎田材木店 店主

榎田榮太郎氏は今や功成り名遂げたる業界の元老格、平町材木商顧問の要職にあたり、町會議員として又所得税調査委員として地方自治のために盡力された。

【電話二四六番】

山野邊材木店 店主

店主山野邊陽氏は新進實業家である。本郡飯野村出身、創業十數年各方面に得意をもつて活動しつゝある。

【電話五三三番】

色川材木店 店主

色川勝三郎氏は才腕快手縦横の經濟人、その天才的商才は電光石火的に閃く途に今日の成功を致した、創業三十數年其間財界の怒濤疾風と戦つて不屈不撓の精神を以つて戦ひ抜いた氏の鐵つゝある。

【電話三三三番】

中川材木店 店主

中川長祐氏は相馬郡出身創業廿年着實な實業家として業界の信用を博してゐる。

▲▲▲▲▲

萩原材木店 新川

町の一角に店舖を構えて堅實なる營業振りを

【電話一六〇番】

佐藤材木店 店主

佐藤三平氏は無比の活動家にして内郷村々會議員消防組頭等の要職にあり村のために盡力奉仕してゐる。創業三十數年材木商組合の幹事として斯業界發展のために盡力されてゐる。出身は神谷村である。

【電話三三〇】

阿部材木店 店主

阿部章氏は堂々甘貫巨軀を有する肥大漢、商機を見逃さず、奮闘の結果今日の成功を致した。

本郡澤渡村出身にして創業十數年、業礎堅實にして

鈴木材木店 店主

鈴木伊平氏は高久村出身創業廿年材木商幹事として業務發展のために盡力されてゐる。

【電話五三四】

丸一材木店 店主

瀧口豊氏は好問村出身、創業十數年業界の信用を得て店運日に増大しつゝある。

【電話一九〇番】

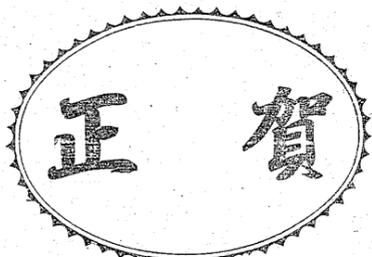
丸上材木店 店主

長小次郎氏は新川町區長として區のため盡されてゐる。創業廿數年、材木商組合長として人望を集めてゐる。

【電話一六〇番】

平町藥店

見聞



平町旅館

料理店風記

谷口樓 濱三郡切 此度新館増設成つて一般の設備をい整た電話二六八番 谷口仁太郎氏が礎いた信用は業界第一である 諸種大小宴會場としてその大廣間を利用される 支店には第一流の美妓を揃え何かにつけて便利である 電話八番

新藤屋支店 驛前 通りにあつて老女將は業界の名物女性である。此度洋風モダンの新増築成つて一完へ如何なる階級の客人にも萬人向の旅館である。 電話一四七

吉田屋 全店は平町東方一流の料理店であつて此處食堂部を新設し若大將が江戸前の腕を揮つて精々勉強してゐる。一般料理仕出しもやる 電話二二〇

和泉屋旅館 平町 此處最も古き旅館である。諸商人宿として好評あり、

尚美堂藥店 店主 菅波裕氏は平商業出身にして一昨年開店、所謂平町銀座通りに位して地の利を有して店運日に増大に赴きつゝある。 電話五五三番

瀨尾藥局 店主瀨尾善之進氏は明治藥學校出身にして創業二十年。 温厚なる君子として業界に重きをなし各方面に得意をもつ。 電話五三一番

阿康藥店 店主阿部康之助氏は苦心經營今日の大をなした。 電話一四四番

石川亭 過般の火災に不幸遭遇して此度新陣容を整えて花々しく復活した。先代石川慶太郎氏が生命を賭して基礎づけた平町第一の牛肉店である。業務日に隆昌し、簡便なる食堂も有る。 電話四三三番

大貞 醉人、食道 樂間に高評ある高級料理店園裏、景勝の地を占め、である、主人は弓術に趣味湯の岳を前望して尼子亭は有し座敷の設備等も完備巨然としてある 創業廿數年して遊び心地よき店である 電話一三〇

呑氣亭 極めて親切なる料理店である。亭主は料理屋組合幹事の要職にあつて業界に重きをなしてゐる。 電話四六一

壽々喜亭 江戸つ子式の料理を以つて定評がある。亭主の義太夫趣味は堂に入り、十八番酒屋の段に至つては識者をして感興の極に達せしめる、傍世界館主として快腕を揮ひつゝある。 電話五八番

尼子亭 松ヶ岡公 感じの極めてよい料理店である大小宴會場としても好適なる座敷がある電一三〇

越の家 天ぶら、 其他の料理を以つて有名である。廊下の隅に至るまで清潔な氣分がする。客扱ひは至れり盡せりて例ひ天井一つの客に對しても親切である。 電話四三〇

松本樓 蒲焼有る名である。

住吉屋支店 平町 玄關口に三層樓の陣營を構成して營業をなす。 店主酒井清氏は警中出身の秀才、消防小頭等をなして新時代の空氣を充分に呼吸しつつ新文化的營業方針の下に店運の隆昌を期しつつある。

住吉屋本店 平町 第一流の旅館である、大政治家、實業家等の定宿として高評噴々である。此度數萬金を投じて新築なつて大宴會場は數百人の客を容る、に足る將また模範的宴會場である。 電一五九

古物業界二人男 武藤治三郎氏 平町才雄小路に營業所を有して活潑大膽なる意氣を以つて一般古物品を大量に信望を博しつつある業界稀に見る古物商人である。 電話五八五番

自動車業界の勇者 薄葉自動車部 綴驛前に堂々たる陣營を構えて薄葉自動車部は花々の知識を傾けて専心自動車業に従事してゐる。明日の成功期して持つべきである。

小野藥舖 店主小野常治氏は温厚等員の紳商にして、純生平つ子であるその堅實なる營業振りと親切第一をモットーとする營業方針は日に増し店運隆昌に走り信用増大しつつある。

投稿觀迎 湯本町 新陳容成つた 吉田恭平商店 店主吉田恭平氏は明朗なる性格の持主にして現代的實業家としての申分なき手腕と力量を有して居る荒物心掛けつゝある。

小川洋服店 店主小川芳太郎氏は江戸つ子肌の人にして、創業廿數年親切第一主義をモットーとして平町銀座通りに陣營を構えて堂々洋服業界の第一線を行く。 子弟に對して懇切なる温性を情傾けて之れが養成に心を掛けつゝある。

堀藥局 一作年開業したる新藥局にして店主堀功氏は明業出身、魁文堂堀喜一氏の令弟である眞面目なる人柄にして堅實なる營業方針の下に業務に従事構えて活潑に營業のスタートを切つた。 電話三二六

大平藥局 店主園部國安氏は高久村出身にして永らく小野藥店の支配人として忠實に働いた。過般獨立して本通一丁目店舖を構えて活潑に營業のスタートを切つた。 電話一四四番

西村藥局 平町に於ける斯業界の横綱にして店主鈴木堅助氏は今や功成り

關内藥局 本町通四丁目地の利を占めて商陣を張る。業界の長老にして基礎堅實である。店主關内榮助氏は明朗なる現代人にして從つてその營業振りも極めて文化的である。月報的パムフレットを出し宣傳に努力しつつある。

山野邊藥局 口八丁、手八丁の快男兒山野邊東次郎氏はその巨大なる肥軀を店頭に見せし、獨特のユーモアと辛辣なる毒告を以つて來客に迎接する。その皮肉なる舌鋒は對者の心膽を寒からしむ。

壽

謹賀新年

昭和八年元旦

平町 麻植精吉	平町 山崎佐一郎	平町 只野忠康	平町 鈴木重助	平町 高橋龜松	平町 萩原申八	平町 河田梅吉	平町 田邊忠三	平町 大河原金之助	小名瀨町 小野晋平	平町 諸橋久太郎	平町 伏見彦衛	平町 飯田近治	平町 石川德壽	湯本町 鷺清昇	飯野村 山崎吉平	平町 山崎與三郎	湯本町 比佐昌平	平町 鈴木辰三郎	好間村 小田吉治	平町 小林清吉	平町 前澤文太郎	平町 猪狩菊三郎	植田町 渡邊德之助	植田町 片岡章	植田町 山崎登	植田町 助川新三	植田町 馬上守一	泉村 金成金三	泉村 坂本龜太郎	泉村 上遠野新重郎	同収入役 星野七郎	泉村 佐々木三郎	泉村 鈴木榮	泉村 高木保	泉村 佐々木善作	泉村 立花秀吉							
平町 若松醫院	平町 木村病院	平町 川井醫院	平町 市原醫院	平町 清水醫院	平町 酒井醫院	平町 大森醫院	平町 木村醫院	平町 金成醫院	平町 松村醫院	平町 藤沼醫院	平町 矢吹醫院	平町 難波醫院	平町 實川醫院	平町 安濟病院	平町 高久病院	平町 平町醫院	平町 警城共濟病院	平町 鈴木眼科醫院	平町 吉田眼科醫院	平町 原齒科醫院	平町 增田醫院	平町 織田齒科醫院	平町 佐藤齒科醫院	平町 平醫院	平町 渡邊醫院	平町 青沼醫院	平町 星眼科醫院	平町 志賀齒科醫院	平町 遠藤齒科醫院	平町 大和田醫院	平町 井坂醫院	平町 根本醫院	平町 山內醫院										
平町二丁目 山崎合會社	平町二丁目 丸屋夕七店	平町二丁目 三井履物店	平町二丁目 大屋商店	平町二丁目 中野洋品店	平町三丁目 大黑屋洋品店	平町三丁目 大谷時計店	平町三丁目 丸ほん商店	平町三丁目 彰山商店	平町四丁目 百澤商店	平町四丁目 宍戸屋商店	平町四丁目 萬屋商店	平町四丁目 一〇商店	平町四丁目 松本菓子店	平町四丁目 つるや洋品店	平町四丁目 伊勢屋商店	平町五丁目 山城屋商店	平町五丁目 松崎荒物店	平町五丁目 青木寫眞館	平町五丁目 吉田新聞店	平町五丁目 青木精米所	平町五丁目 久保田商店	平町五丁目 平館	平町五丁目 三井自動車部	平町五丁目 增尾木工場	平町五丁目 渡邊長作	湯本町 齋藤與一郎	湯本町 石川八郎	湯本町 菅波千之助	湯本町 菅波寅太郎	湯本町 渡邊熊藏	湯本町 金成岩吉	湯本町 面川龜之介	湯本町 額賀醫院	湯本町 木村醫院	湯本町 中野捨與	湯本町 吉田盛治	湯本町 酒喜屋	湯本町 木村醫院	湯本町 大場醫院	湯本町 役場吏員一同	湯本町 村會議員一同	湯本町 三井自動車部	湯本町 增尾木工場
石城郡銀行組合	石城町村長會	磐城郡各學校長會	磐城建物株式會社	磐城電力平營業所	磐城片倉平製絲所	磐城炭礦株式會社	古河炭礦株式會社	入山採炭株式會社	杉山炭礦々業所	磐城無盡商會	湯業無盡株式會社	郡山無盡平出張所	平庶民金庫	堀江工業株式會社	福島貯蓄銀行	平支店	平運輸株式會社	平藝妓屋組合	平料理屋組合	平旅館組合	平西洋料理組合	平三業保險組合	湯本藝妓屋組合	湯本旅館組合	平町理髮業組合	二本松電氣	小名瀨營業所																